

還骨勤行（かんこつごんぎょう）

還骨回向（かんこつえこう）

還骨法要（かんこつほうよう）

還骨は火葬、骨あげ後の「お骨に還った」ことを表す。

火葬場からの帰路は往路と違った道をたどるのが習わしとなっています。

その遺骨は斎場などの後飾り壇に安置しますが、邪悪なものを家に持ち込まないように入館の際には水で指先を洗い、塩で清める。

この清めの行為は火葬場に行かなかった人が手伝う。

※ 浄土真宗では「清め」の儀式はありません

※ 神式の場合は「祓除ばつじょ」の儀式があります

※ キリスト教では死を汚れとは考えないために「清め」の儀式はありません

後飾り壇（中陰壇）に安置し僧侶読経、焼香をして葬儀の締めくくりとします。

これらの流れを還骨勤行・還骨回向・還骨法要などと言っています。

宗派により言い方が違うので紛らわしくなりますので**還骨法要**の言い方がよろしいでしょう。

※ 厳密には還骨勤行は浄土真宗の言い方です

※ 臨済宗は安骨諷経（あんこつふぎん）と言います

※ 曹洞宗は安位諷経（あんいふぎん）と言います

※ 神式の場合は帰家祭（きかさい）で無事葬儀終了の奉告をして終了となります

葬儀の曲友(かねとも)札幌

<http://kanetomo.2lala.net/temple.html>

曲友(かねとも)